

『別冊整形外科』 No. 76 「運動器疾患に対する保存的治療 ——私はこうしている」

整形外科医の本分として新規手術の開発や手術手技の改良があります。外科手術は侵襲や有害事象が懸念される治療法ですが、さまざまな画像診断や術中支援機器により安全かつ高い精度をもつようになり、成績も一層安定してきています。その一方で、生活習慣病や癌に対する治療の発展により、さまざまな並存疾患を有する脆弱な患者群の運動器診療に関わらざるをえなくなってきました。

本特集では「運動器疾患に対する保存的治療」を取り上げました。われわれが診療する運動器疾患の大半は保存的治療の適応ですが、手術と保存的治療のせめぎ合いがあってこそ、それぞれの適応や限界が明らかになっていきます。また、主要な運動器疾患の診療にはガイドラインが策定されていますが、本来ガイドラインはすべての患者さんにあてはまるものではありません。エビデンスに欠けている治療法に意味がないわけではなく、むしろその有用性を確信している治療法を磨き上げ、新たなエビデンスをつかっていくことこそわれわれ医療者の重要な活動であります。ふるってご投稿いただけますと幸いです。

募集テーマ

I. 総論

1. 運動器疾患の保存的治療の実情や方向性について
 - 1) 疫学や検診による分析
 - 2) 一般整形外科外来における活動
 - 3) その他

II. 保存的治療各論

1. 運動療法
 - 1) 運動機能不全（ロコモティブシンドロームなど）に対して
 - 2) 運動器疼痛に対して
2. 理学療法
 - 1) 超音波療法
 - 2) 電気刺激療法
 - 3) 牽引療法
3. 装具療法、テーピング
4. 食事、栄養、サプリメント
5. 薬物療法
6. インターベンショナル治療
 - 1) 関節内注射
 - 2) PRP（多血小板血漿）
 - 3) 神経ブロック
 - 4) 新規デバイス（筋膜リリースに対してなど）
7. 保存的治療を補完する取り組み
 - 1) アドヒアランスを保つための工夫、デバイス
 - 2) 医療チーム、病院・地域での取り組み
8. その他

III. 上肢疾患に対する保存的治療

1. 上肢の外傷（鎖骨骨折、上腕骨近

位部骨折、肩関節脱臼、舟状骨骨折、橈骨遠位端骨折、手指骨折）

2. 肩関節周囲炎、上腕骨外上顆炎、de Quervain 病、狭窄性腱鞘炎
3. 上肢の変形性関節症 [変形性母指手根中手 (CM) 関節症、Heberden 結節]
4. 小児・学童期の上肢疾患（野球肘、ばね指）
5. 上肢の神経障害 [胸郭出口症候群、手根管症候群、複合性局所疼痛症候群 (CRPS) など]
6. その他

IV. 下肢疾患に対する保存的治療

1. 下肢の外傷 [股関節脱臼骨折、非定型大腿骨骨折、膝蓋骨骨折、膝半月板損傷、膝靭帯損傷、下腿骨折、疲労骨折、足関節骨折、足部骨折（踵骨骨折、距骨骨折）、アキレス腱断裂]
2. 変形性股関節症、変形性膝関節症、変形性足関節症、外反母趾、強剛母趾
3. 扁平足、後脛骨筋腱機能不全、有痛性外脛骨、足底腱膜炎
4. 小児・学童期の下肢疾患（Perthes 病、単径部痛症候群、シンスプリント、Osgood-Schlatter 病、内反足など）
5. 下肢の神経障害（Morton 病など）
6. その他

V. 脊椎、骨盤疾患に対する保存的治療

1. 頸椎疾患
 - 1) 頸椎の外傷（外傷性頸部症候群、環椎破裂骨折 (Jefferson 骨折)、歯突起骨折、ハングマン骨折）
 - 2) 脊髄損傷
 - 3) 頸椎性神経根症、頸椎性脊髄症・後縦靭帯骨化症など
 - 4) 小児の頸椎疾患（環軸椎回旋位固定、筋性斜頸など）
 - 5) その他
2. 胸腰仙椎・骨盤疾患
 - 1) 胸腰椎の外傷 [外傷性胸腰椎圧迫骨折、骨粗鬆症合併の脊椎骨折、びまん性特発性骨増殖症 (DISH) 合併の脊椎骨折、偽関節]
 - 2) 骨盤骨折、仙骨骨折、肋骨骨折
 - 3) 椎間板症、椎間関節障害
 - 4) 成人脊柱変形
 - 5) 腰部脊柱管狭窄症、腰椎椎間板ヘルニア
 - 6) 仙腸関節障害
 - 7) 小児・学童期の胸腰仙椎・骨盤疾患（側弯症、腰椎分離症など）
 - 8) その他

VI. 有害事象と対策・予防

1. 廃用性筋萎縮や関節拘縮、皮膚障害・褥瘡
2. 深部静脈血栓症、肺塞栓
3. せん妄、失語、認知症悪化
4. その他

『整形外科』編集委員会

ご応募くださる方は、タイトルおよび要旨（1,000字以内）を、2019年2月末日までに下記『整形外科』編集室・『別冊整形外科』係宛にお送りください（E-mailでも受け付けます）。2019年3月末日までに編集委員会で採否を決めさせていただきます。その後ご連絡いたします。なおご執筆をお願いする場合の原稿締め切りは採用決定から2ヵ月後（2019年5月末日）、発行は2019年10月予定となります。

送付先：☎ 113-8410 東京都文京区本郷三丁目42番6号

株式会社南江堂 『整形外科』編集室・『別冊整形外科』係

(TEL 03-3811-7619 / FAX 03-3811-8660 / E-mail: pub-jo@nankodo.co.jp)